



(題字は初代学長 山田守英氏)

第 158 号

平成27年2月20日

編集 旭川医科大学
発行 教務部学生支援課



「雪のスター・ウォーズ (さっぽろ雪まつり)」

写真撮影：学生支援課

ベトナムでの医療活動に参加して 医学科第3学年 仲野りりこ……2	平成26年度大学機関別認証評価を受審……9
ベンチェミッションに参加して 医学科第3学年 仙波 尚之……3	平成27年度授業料免除の申請について……10
第3回医学科白衣式を行いました……4	平成27年度日本学生支援機構奨学生の募集について……10
音楽系団体による院内コンサート……5	学生表彰規程の一部改正について……11
奇術研究会がマジックショーを開催！……7	海外渡航時の安全確保について……11
医学科第5学年地域枠学生との懇談会を開催しました……8	友人の紹介による投資用DVDのもうけ話に御注意を！…11
学生と学長補佐との意見交換会を開催しました……8	今後のスケジュール……11
北海道医師養成確保修学資金貸付事業講演会を開催……9	学生のマナーについて……12
	不要自転車の引き取りについて……12
	教員の異動……12

ベトナムでの医療活動に参加して

医学科第3学年 仲野りりこ

このたび私は、昨年12月19日から28日の十日間に渡り、旭川医科大学病院チームの一員としてベトナムベンチェ省での口唇口蓋裂患者の医療支援に参加させていただきました。私は以前高校の研修旅行でベトナムを訪れたのですが、その際に水頭症の子どもたちがいる孤児院を訪れました。高校の頃は募金活動などを行いましたが、医学生となった今、私になにかまたベトナムの子どもたちにできることはないかと考え、この活動への参加を決意しました。

口唇口蓋裂の手術は22日から始まり、26日までの計五日間に渡り手術が行われました。朝の七時には病院に到着、準備のできた部屋から手術をはじめ、合計三部屋の手術室で各部屋4例ほどの口唇口蓋裂の手術を行います。私は中央機材で手術道具の滅菌の手伝いが主な仕事でしたが、仕事に慣れてきてからは術前術後の写真撮影、リカバリールームでは点滴のルート取りの手伝い、また旭川医科大学チームの手術にも入らせていただき、この五日間でたくさんを経験できました。まだ三年生でわからないこともたくさんあったのですが、様々なことに挑戦させていただき、今後の実習等にもつながる非常によい体験でした。

また最終回診日はスタッフ全員で病棟に向かい、患者さんの診察を行いました。初診時には不安そうな顔をしていた子どもたちや家族の方々も、この日は皆安心してような表情がみられました。最終日で疲れもピークに達していましたが、彼らの笑顔を見ることができてとても嬉しかったし、この活動に参加してよかったと改めて思いました。

現在ベトナムでは出生前に胎児が口唇口蓋裂かを調べることができ、胎児になんらかの奇形があると中絶する母親が増えていると聞きました。手術を受ければ何不自由なく暮らせるのに、生まれる前に失われていく命があることにとても悲しみを感じ、深く考えさせられました。このような中絶を減らすためにも、この活動をベトナムの多くの人に知ってもらい、またベトナムに日本の技術をもっと伝えることができればよいと思いました。

今回この活動に参加して、様々なことを経験することができました。旭川医科大学の先生や職員の方はもちろん、学部学生海外助成制度を支えてくれている皆様に本当に感謝しております。ここで学んだことを、将来医師となった時に必ず生かして医療活動に携わっていきたいと思います。



▲同グループのメンバーとの記念撮影

ベンチェミッションに参加して

医学科第3学年 仙波尚之

ベトナムでの医療支援活動についてはじめは、いろいろな地区から参加者もいるし、おもしろそうだなあという単純な好奇心から興味を持ちましたが、自分の国際医療貢献への興味などから今回のミッションへの参加を決めました。

初めは口腔外科診療の実際を知らない状態で参加することに引け目を感じ、ましてや臨床実習を経験しているわけでもない中で何が出来るだろうかという不安もありました。しかし、現地でのミッションは学生にもそれぞれ役割分担される中で、むしろ各個人が医療チームの中で果たしていく役割がある、ということを改めて実感させられました。

この医療支援活動が現地の人々にとってどのような意義のあるものなのかは、一学生として参加した私からはなかなか上手く表現できませんが、一個人としての経験として考えると、今回のベトナムミッションへの参加では、普通に医療教育を受けている中では味わえない、インパクトのある医療活動を体験できたと思っています。当たり前前の生活・診療が出来ない環境下では、熟練されたスタッフの方々であっても、いろいろな工夫の中で診療が行われていたことも印象的でした。

また、このミッションを支えるリピーター参加者の方々が、普段通りとはいかないフラストレーションの中であっても、その不満以上にそれ乗り越えることを、楽しむかのように診療をこなしていく姿には、各個人の医療人としての魅力がまた、この様な医療支援を支えているのだとも感じました。

今回の活動を経験し、また機会があればベトナムのミッションに参加したいと思います。しかしそれ以上に、このベトナムのミッションの良さを友人に伝え、この感動を共有できる人が増えれば

いいなとも感じました。それは、今回感じたように各個人で感動することやショックを受ける部分が多かれ少なかれ異なるなかで、自分だけが感じた部分だけでなく、他の人の目を通じて何が見えるのかを知ることで、今回の経験から今後また新しいことを学びたく思うからです。

最後にこの活動へ参加するに当たり、貴重な機会を与えていただき、またご助言頂いた旭川医科大学、歯科口腔外科学教室の松田先生、吉田先生、柴山先生、麻酔科の鈴木先生、附属病院看護師の柴田さん、および今回参加された学生のみなさん含む、2014年度ベンチェミッションに全国から参加された全ての方々に感謝いたします。



▲廊下で行う診察風景

第3回 医学科白衣式を行いました

平成27年2月13日（金）旭川医科大学看護学科棟大講義室において、2月より臨床実習を開始する医学科第4学年学生を対象とした第3回医学科白衣式が挙行されました。

白衣式は、これまで4年間にわたり学んできた医学の基本的教育と問題解決能力に加えて、医師に必要な態度と診察技能を評価する共用試験と呼ばれる評価試験を通過した学生に、今後の臨床実習に取り組む心構えを明確にすることを目的に行っています。

式典では、まず、吉田晃敏学長から祝福と激励



の言葉が贈られ、その後、学長をはじめとした8名の指導教授より学生一人ひとりに白衣を着せて頂きました。その場面は、厳粛かつ和やかな雰囲気に入れられ、感動的なものでした。一人ひとり、白衣を授与することは、医師となるための本格的なトレーニングの開始を祝福するとともに、白衣を着た時には学生としての甘えは捨て「医師のプロフェッショナリズム」、「医師を目指した時の初志」を再認識して頂く意味が込められています。



最後には、第4学年出席者全員で「誓いの言葉」として、自分たちが目指す医療人としての目標について宣誓を行い、自分の名前が刻まれた真新しい白衣を着た学生たちは、患者さんの信頼に応えられる医療人・患者さんへの思いやりと使命を持った医師を目指し、新たな一步を踏み出しました。

【39期生誓いの言葉】

- 誠心誠意医療を行い、患者さんから信頼される医師になります。
- 相手の心に寄り添うことのできる温かな医療者を目指します。
- 人との絆に感謝し、患者さんを尊重できる人間性を磨きます。
- 地域医療に対する強い使命感をもち、最善の医療を尽くします。
- 変化する医療環境の中で、医師としての研鑽を積み続けます。
- 支え合う仲間とともに、志高く医の道を歩むことをここに誓います。



音楽系団体による院内コンサート



室内合奏団 クリスマスコンサート

昨年12月13日（土）に病院玄関ホールにおいて、恒例のクリスマスコンサートが行われ、サンタに扮した学生たちが、Joy to the World, 妖怪ウォッチメドレー, Happy Xmas (War is over)などを演奏しました。サンタクロースからは、会場に集まった患者さんやご家族にプレゼントが手渡され、一足早いクリスマス気分を味わっていました。



ブラスアンサンブル クリスマスコンサート

翌12月14日（日）にはブラスアンサンブルによるクリスマスコンサートが行われ、多くの患者さんとそのご家族、そして本学の卒業生も多く集まり賑やかなコンサートとなりました。今年大ヒットした、Let it Go-ありのままで-や、NHK連続テレビ小説「花子とアン」主題歌 にじいろ など全12曲の演奏を披露し、皆充実した表情を見せてくれました。



ギター部&ジャズ研究会 合同クリスマスライブ

12月23日（火）には、ギター部とジャズ研究会が合同でクリスマスライブを開催しました。この日は、毎年恒例のモミの木のクリスマスツリーも設置されて、クリスマス気分はより一層盛り上がりました。第1部はギター部による演奏6曲、第2部はジャズ研究会による演奏が7曲披露され、最後には、ギター部とジャズ研究会が合同で、赤鼻のトナカイ等が演奏されました。



奇術研究会がマジックショーを開催!

平成26年度に新たに設立された学生団体「奇術研究会」のメンバーが、12月17日(水)に行われた「旭川医科大学 大学の森 みどりの保育園」のお誕生会にスペシャルゲストとして参加し、マジックショーやバルーンアートで、約30名の子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしました。

園児たちが選んだカードの数字を当ててみせたり、目の前で、カードに描かれた動物の絵を変えてみせたりと、次々起こるマジックに園児たちの目は釘づけ。

その後、園児一人一人に、即興で作ったバルーンアートのプレゼントがあり、剣やお花などをもらった子どもたちは、もう大はしゃぎ!!

最後には、子どもたちからのお礼として、「あわてんぼうのサンタクロース」の歌と踊りが披露され、奇術研究会の学生たちも大感激していました。



医学科第5学年地域枠学生との懇談会を開催しました

本学学生のキャリアプラン支援委員会の主催により、医学科第5学年地域枠学生との懇談会が、平成27年1月7日（水）本学第一会議室において開催されました。

懇談会には、医学科第5学年の23名と、大学側からは、吉田学長をはじめ、卒後臨床研修センター、教育センター、入学センター、地域医療教



育学講座及びキャリアプラン支援委員会の委員の先生方9名と医学科第5学年学年担当の東教授が参加されました。

懇談会では、まず初めに、吉田学長から「地域枠入学者に係る基本的な考え方等」についての説明があり、次いで、卒後臨床研修センター長 大崎教授からの「本学の卒後臨床研修プログラム」についての説明が行われました。

その後の質疑応答では、学生から、卒後臨床研修プログラムに関する質問や、自らのキャリアプランについての相談等があり、活発な意見交換が行われました。大学では、今後も、色々な形で情報提供を行ってまいりますので、不明な点などがある場合には、お気軽にお問合せください。

学生と学長補佐との懇談会を開催しました

平成27年1月23日（金）に、教育担当の学長補佐4名（千石学長補佐、鈴木学長補佐、立野学長補佐、作宮学長補佐）と学生12名との懇談会を開催しました。この懇談会は、平成24年度から行われているもので、今回は3回目の開催となりました。

当日は、医学科第1～4学年及び看護学科第1・2学年の各学年から2名ずつが参加し、昼食を取りながら、大学生生活全般などに関して意見交換を行いました。

学生からの要望には、施設・設備に関する事項などコストの面から、改善が難しいと思われるものもありましたが、大学では、皆さんの意見を踏まえて、より良い環境づくりに努めていきたいと考えています。

今後も、日常生活のなかで、気が付いた点や、ちょっとした要望などがありましたら、お気軽に学生支援課窓口でお知らせいただくか、学生の声

「ひとこと・ふたこと」によりご意見をお寄せください。



北海道医師養成確保修学資金貸付事業講演会を開催

平成27年1月19日（月）午後5時30分から、北海道保健福祉部による主催で、北海道医師養成確保修学資金貸付事業講演会が本学臨床第三講義室で開催されました。

講演会に先立ち、北海道保健福祉部の担当者から、道内における地域医療の現状について説明があり、その後、道立羽幌病院の和田吉生医師から、「医療僻地で働くこと」と題して、ご講演をいただきました。

今回の講演会は、北海道医師養成確保修学資金の貸付を受けている医学科の学生を対象として開

催されたものでしたが、73名の学生のほか本学教員も参加され、和田先生のお話を熱心に聴講されていました。自治医科大学出身の和田先生も、最初は、僻地で働くということに不安を感じられていたようですが、実際に勤務してみると、それまであった不安のほとんどは取り越し苦労であったこと、たとえ僻地であっても、自身の努力があればキャリアアップは図れること等々をお話くださり、学生への熱いエールを送ってくださいました。



平成26年度大学機関別認証評価を受審

平成26年11月20日（木）・21日（金）の2日間にかけて、（独）大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価の訪問調査が実施されました。国公立大学は、その教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況に関し、7年以内ごとに、文部科学大臣が認証する評価機関（認証評価機関）の実施する評価を受けることが義務付けられています。

訪問調査では、現役学生及び卒業（修了）生との面談も行われ、医学科・看護学科の学生6名、

大学院生2名、卒業生4名の計12名の皆さんにご協力をいただきました。面談後には、「教員と学生との距離がとても近く、学生同士の上下の繋がりも強い大学であると印象を受けました。」という評価委員からの感想をいただきました。面談は、夕方6時から1時間半という長時間実施されましたが、ご協力いただいた皆さん、どうもありがとうございました。なお、本年3月には評価結果が確定し、確定した評価結果は広く社会に公表される予定です。



平成27年度授業料免除の申請について

本学では、授業料の納入が困難な学生に対して、選考のうえで授業料の全額もしくは半額を免除する制度を設けています。以下の基準のいずれかに

該当すると思われる学生で、授業料免除を希望する場合は、次のとおり申請手続きを行ってください。

1. 授業料免除基準

- (1) 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合。なお、平成27年度において原級に留め置かれている者、又は最短修業年限を超えて在学している者は、免除の対象とはなりません(病気・留学により休学した者は除きます。)
- (2) 授業料納期前6か月以内において、学生の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。))が死亡した場合、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が困難であると認められる場合。
- (3) (2)に準じる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合。

※授業料滞納者の授業料免除申請は受理しません。

2. 配付期間

平成27年2月6日(金)～3月13日(金)17時15分まで(土日祝日を除く。)

3. 申請期間

平成27年4月9日(木)～4月17日(金)17時15分まで(土日祝日を除く。)

※4月6日(月)～8日(水)は入学式等の行事があるため、受け付けできません。

4. 配付場所・申請書類提出場所

学生支援課学生総務係

平成27年度から、授業料免除枠拡大に伴う、学業成績基準の見直しを検討しています。
現時点では詳細は未定のため、決定次第お知らせします。

平成27年度日本学生支援機構奨学生の募集について

日本学生支援機構は、優秀な学生で経済的な理由で就学困難な者に学資を貸与しています。

本学では、日本学生支援機構からの推薦依頼に基づき、出願者の種々の条件を考慮して選考を行い、日本学生支援機構へ推薦します。ただし、日本学生支援機構では奨学金貸与の種別ごとに推薦基準が定められており、その資格があっても採用

枠の関係で推薦できない場合があります。

平成27年度の募集説明は、4月13日(月)午後5時から看護学科大講義室において実施する予定ですので、希望者は必ず出席してください。

なお、募集の時期以外に家計の急変により、学資の支弁に困難な事情が生じた場合は、学生支援課学生総務係に相談してください。

学生表彰規程の一部改正について

本学では、課外活動等において顕著な成果を挙げた学生及び学生団体を表彰する学生表彰制度を設けていますが、この度、平成26年12月19日付けで本学学生表彰規程の一部が改正されました。

これまでは、学生表彰に値すると認められた学生に対しては、その都度表彰を行ってきましたが、今後は、「原則として一の年度2回（10月及び3月）行う」こととなりました。

課外活動や、社会活動、学術研究活動等で特に顕著な成果を挙げ、学生表彰に値すると認められた時には、本学教授又は学生団体顧問教員から推薦していただきますので、平成26年度に地区体等で優勝した場合や、学会等で高い評価を得た場合などは、ご連絡ください。

海外渡航時の安全確保について

昨今の海外情勢（イスラム国による日本人殺害事案等）を受けて、外務省から注意喚起がなされているとともに、文部科学省から学生の安全確保に細心の注意を払うよう要請がありました。

現在、海外渡航を計画されている場合には、誘拐、脅迫、テロ等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、外務省が発出する情報等及び報道等により最新の治安・テロ情報等の関連情報を入手するとともに、外務省が実施している「渡航登録サービス」への登録をするようにしてください。

特に、シリア、イラクのみならず、退避勧告が出されている国や地域への渡航は控えてください。

友人の紹介による投資用DVDのもうけ話にご注意を!

テレビ及び新聞等でも報道されたとおり、消費者庁では、東京都を中心とする関東圏に居住する大学生等に高額な投資用DVDを販売した事業者3者に対して、東京都と同時に3か月の業務停止命令を行いました。同事業者は、業務停止命令期間が終わると事業を再開する可能性もあり、また、事業者名を変えて同様な手口で販売を行う可能性も否定できないことから、この度、消費者庁から、大学生等に対する投資用DVD販売にかかる被害防止のための周知依頼がありました。学生の皆さんは、十分に注意してください。

今後のスケジュール

春季休業 2月23日（月）～ 医学科第1～3学年，医学科第5学年，看護学科第1・2学年
3月9日（月）～ 看護学科第3学年
3月16日（月）～ 医学科第4学年

3月11日（水） 一般入試後期日程設営 } 入学試験の実施に伴い、3月11日(水)・12日(木)
3月12日（木） 一般入試後期日程 } は構内への立ち入りが制限されます。
3月25日（水） 学位記授与式
4月6日（月） 入学式

※学位記授与式（卒業式）及び入学式は、午前10時30分から本学体育館において行います。なお、当日は、自家用車での来学はご遠慮願います。



学生生活のマナーについて

学生の皆さんには、学内メール等において日頃から注意喚起をしているところですが、最近、旭川医科大学病院を利用されている方や近隣住民からの学生のマナーに関する苦情が多く寄せられています。

特に、皆さんは学生ではありますが、常に“医療職の卵”として見られています。大学内はもちろんのこと、病院内に一步入った時には、特に『他者への配慮』を忘れずに行動してください。

1. 院内での行動マナー

スターバックスやローソン横のイトインコーナーで、学生が席を長時間占有している、学生が騒いでいる、といった投書が多く寄せられています。院内の施設を利用する時には、特に、医療職者を指す学生として相応しい行動を心がけてください。

2. ゴミ処理のマナー

ゴミステーション等を利用する際、決められた収集日時や分別方法に従ってゴミ出しをしてください。

3. 駐車マナー

相変わらず大学構内の路上に違反駐車が多く見受けられます。また、構内には、一般来院・来学者用の有料駐車場があり、パスカードを使用せずに利用できる駐車スペースがありますが、これらは学生用ではありません。本学では、自動車通学は原則禁止されています。「料金を支払っているから、駐車しても良い。」というわけではありません。

不要自転車の引き取りについて

卒業や買い替えなどで、不要になった自転車はありませんか？

本学では、毎年、自転車の無償提供を希望する学生が多いため、このような学生の皆さんに有効利用してもらいたいと考えています。

なお、自転車が不要になった場合には、決して大学構内の駐輪場等に放置しないようお願いします。学内の放置自転車は持ち主が分からないため、リユースすることができず、廃棄処分せざるを得ない状況です。

不要になった自転車で、まだ使用できる状態のものがありましたら、事前に学生支援課学生総務係までご連絡ください。



教員の異動

H27.1.1 昇任 医学部法医学講座

准教授 浅利 優